

こんにちは 野々市市議会です

新型コロナウイルス感染症の市民生活に関わる

6月定例会概要 各委員会のQ&A 2 P

議決結果一覧 3 P

5月臨時会概要 表彰議員 4 P

一般質問(7人登壇) 5 P

人事案件 9月定例会日程 12 P

※新型コロナウイルス感染による休校が明け集団登校する御園小学校御経塚地区の小学生たち。
写真撮影：編集委員会メンバー（掲載に当たってはご家族及び関係機関の了解を得ています。）

市内に店舗を構える生活関連サービス業等を 対象とする事業継続緊急支援金の拡充など、 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策費用を 含む4億6,548万4千円を追加



令和2年第3回6月定例会を、6月4日から22日までの19日間の日程で開会し、栗貴章市長より提出された令和2年度一般会計補正予算をはじめとする議案25件及び議会議案1件が提出され、公立小・中学校情報教育のためのタブレット端末4,900台の購入費及び、市内の中小小規模事業者及び個人事業者に対する更なる手厚い対策費を含めた、一般会計補正予算総額245億7,017万9千円を全員一致で可決しました。また、任期満了に伴う野々市市農業委員会委員・人権擁護委員の候補者推薦を全員一致で同意・適任としました。

各委員会の主な質問と答弁

予算決算・総務産業・

教育福祉常任委員会

6月15・16・19日の3日間

Q 事業継続緊急支援金事業の対象が全業種に拡大されたが、制度の周知方法を伺う。

A 市ホームページや広報野々市7月号に制度内容を掲載するほか、市商工会に周知を依頼した。また、セーフティネット補償の認定を申請した企業のうち、事業継続緊急支援金の申請がなかった企業に対しては、金融機関を通して周知を行っていく。

Q 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による、納税猶予等の申請件数を伺う。

A 納税猶予の特例制度の申請件数は37件である。そのうち33件を許可しており、金額については、2,134万6,700円である。残りの4件については、審査中である。

Q ひとり親世帯臨時特別給付金の申請の方法を伺う。

A 児童扶養手当をすでに受給している方については、通知を郵送するが、特に申請等の必要はない。現在、所得の超過などで受け取っていない方のうち、新型コロナウイルス感染症の影響で急激に所得が減少した方については、申請が必要となるが、その際はホームページ等で様式等を公表し、郵送による申請を勧奨する予定である。

Q 白山石川医療企業団への負担金、170万円の内容を伺う。

A 新型コロナウイルス感染症に関する診察・治療に従事する職員に対して支給する特殊勤務手当分である。期間にして3月から6月の4か月分の手当について、白山石川医療企業団を構成する市町で負担するものである。

私は賛成・反対しました

議 決 結 果 一 覧

令和2年6月定例会

※議長（中村 義彦）は採決に加わりません。

	議 案 名	議 決 日	議 決 結 果	梅野智恵子	朝倉雅三	小堀孝史	向田誠市	北村大助	馬場弘勝	安原透	西本政之	中村義彦	杉林敏	辻信行	早川彰一	土田友雄	大東和美	岩見博
議案第32号	専決処分（令和元年度野々市市一般会計補正予算第5号）の承認について	6月22日	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第33号	専決処分（令和元年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算第4号）の承認について	6月22日	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第34号	専決処分（令和元年度野々市市後期高齢者医療特別会計補正予算第2号）の承認について	6月22日	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第35号	専決処分（野々市市税条例等の一部を改正する条例）の承認について	6月22日	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第36号	専決処分（野々市市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）の承認について	6月22日	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第37号	専決処分（野々市市介護保険条例の一部を改正する条例）の承認について	6月22日	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第38号	専決処分（野々市市国民健康保険条例及び野々市市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例）の承認について	6月22日	承 認	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第40号	令和2年度野々市市一般会計補正予算（第2号）について	6月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第41号	令和2年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	6月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第42号	野々市市基金条例の一部を改正する条例について	6月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第43号	野々市市税条例の一部を改正する条例について	6月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第44号	野々市市心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	6月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第45号	野々市市長等の給与の特例に関する条例について	6月4日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第46号	財産の取得について	6月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第47号	野々市市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月4日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第48号	野々市市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月4日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第49号	野々市市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月4日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第50号	野々市市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月4日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第51号	野々市市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月4日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第52号	野々市市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月4日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第53号	野々市市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月4日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第54号	野々市市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月4日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第55号	野々市市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月4日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第56号	野々市市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	6月4日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第57号	令和2年度野々市市一般会計補正予算（第3号）について	6月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	6月4日	適 任	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議会議案第3号	野々市市議会議員の議員報酬及び政務活動費の特例に関する条例について	6月4日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○

令和2年（第2回）5月臨時会概要（5月18日）

5月臨時会において、栗 貴章市長から令和2年度一般会計補正予算をはじめとする議案8件が提出された。

令和2年度一般会計補正予算（第1号）は、新型コロナウイルス感染症から市民の命と暮らしを守るため、「感染症拡大防止対策」「市民生活の支援」「地域経済の支援」の3つの柱で編成された。

感染拡大防止対策

感染拡大防止対策費
放課後児童クラブ午前開所対応費
放課後児童クラブ利用自粛対応費
法人保育園等保育園自粛対応費
法人保育園等感染症対策費
学校給食休止対応費
Web会議環境整備費

市民生活の支援

特別定額給付金給付事業
子育て世帯臨時特別給付金支給事業
ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業

地域経済の支援

事業継続緊急支援金
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金負担金
借用保証料の補助
中小企業支援特設ブースの設置
1の1NONOCH「お弁当ドライブスルー」支援
飲食テイクアウト応援事業「#のうちのごはん」

これらの事業に関して57億4,469万5千円を追加し、予算総額を241億469万5千円とする補正予算を全員一致で可決した。

専決処分令和元年度一般会計補正予算第5号を含む7件の議案は継続審査とし、6月定例会において全員一致で承認した。

予算決算常任委員会の主な質問と答弁

Q 学校や保育園などの手洗いの水栓を自動水栓にしているのか。

A 現場の意見、現状を確認しながら検討したい。

Q 石川県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金負

担金7,700万円が計上されているが、県内市町の負担割合について伺う。

A 県内市町の協力金負担割合は、金沢市が2分の1、金沢市以外の市は3分の1、町は4分の1である。

採択された意見書

「新型コロナウイルスの感染爆発と医療崩壊を防ぐための抜本的な対策を求める意見書」

【要旨】

新型コロナウイルスの影響により、生活不安が広がっていると同時に、事業活動を縮小・休止せざるを得ない事業者が生じており、経済全般にわたり甚大な損失をもたらしている。

また、感染症の拡大・まん延の長期化により、現場の医療従事者の疲弊と人手不足、防護関連用具や衛生材料の不足について深刻な状況となっていることから、感染爆発と医療崩壊を防ぐために、国民と事業者に対する補償と、PCR検査及び抗体検査体制を抜本的に改善・強化するとともに医療機関への財政支援などの対策を国に求める。

表彰

全国市議会議長会表彰

北信越市議会議長会表彰

早川 彰一 議員

市議会議員として10年間在職し、市政の振興、発展に努められた。



北陸地区都市監査委員会表彰

大東 和美 議員

多年にわたり市監査委員として、よくその職務に精励し都市監査委員制度の発展に寄与された。





安原 透 議員

新型コロナ対策において年度末までの思い切った事業の見直しによる補正予算歳入の捻出を目指せ

市民の為に年度内事業を見極めながらコロナ対策への補正予算歳入の確保にあたりたい

Q コロナ禍感染防止対策の補正予算事業費用について年度末までの思い切った事業の見直しによる歳入の捻出を目指せ。

A **市長** ● 感染拡大防止のためにやむを得ず中止をした事業については一律に削減するわけではなく実施方法も工夫しながら市民の皆さまに喜んでもらえるよう予算の再編をしたい。

Q 特別定額給付金給付事業における進捗状況について伺う。

A **総務部長** ● 給付状況については6月10日現在で2万1950世帯となり率にして90.7%給付済みである。8月11日の申請期限であり約1割の未申請者に対して今後も申請状況を注視し適切に対応したい。

Q 野々市市事業継続支援金における1000件の支援見込みについて現状を伺う。

A **市長** ● 受付件数は現在、355件である。市内全ての業種に影響が及んでいる実態を把握し現状を何とかしたいという思いから提出期限を2か月延長し9月末日とする。また支援金の対象業種を全業種に拡大をした。

Q 小中学校の長期休業に伴い学校給食がなくなったことから家庭の食費負担が増大している。子育て世代の生活支援について食費援名目での支援をすべきではないか。

A **市長** ● 子どもたちに対して何らかの支援が必要と考えている。支援の方法も含めて今後検討をしたい。

Q 「新しい生活様式」の実践例について本市としての「新しい生活様式」を示していくべきと考える。これから暑い夏の季節となる。熱中症対策としてもマスクの着脱等、市民の皆さまにしっかりと本市としての「新しい生活様式」を示すべきと考えるがいかがか。

A **市長** ● 市民の皆さまには「新しい生活様式」の中で身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い等、感染防止の3つの基本対策の実践をお願いしたい。市で行う事業や関係団体の場でも周知を図っていき

Q 本市の活力再生の力となる人の集まり、これからのイベント開催のあり方について具体的に伺う。

A **教育文化部長** ● 国のガイドラインや他の市町のイベント開催方法を参考にしながらにぎわい創出と密集回避の両立に取り組んでいきたい。今後、会場の分散や時差開催など検討して皆様に楽しんでいただけるよう検討したい。

Q 緊急事態解除後も市長メッセージをしっかりと発信いただくことが必要である。市長の思いを伺う。

A **市長** ● 様々なメディアを通して思いを発信してきた。市民の皆さまに向けてのメッセージはこれからも継続をして発信に努めていきたい。

Q GIGAスクール構想児童生徒の学習支援について本市内児童生徒が1人1台端末を持って学習をするまでのロードマップを伺う。

A **教育文化部長** ● 一般の新型コロナウイルスの流行によって令和5年度までの環境整備を目指していたものがわずかに1年で完了へと方向転換がなされた。端末配備は在庫の状況もあることから今のところ確実な時期は言えないが、遅くとも年度内には配備を終える見込みであり早ければ2学期から配備できればと願っている。

Q 本市の活力再生の力となる人の集まり、これからのイベント開催のあり方について具体的に伺う。

A **市長** ● 本市の活力再生の力となる人の集まり、これからのイベント開催のあり方について具体的に伺う。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、https://youtu.be/iw_mluKyIow

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



本市小中学校児童生徒へ ICT 教育推進における市長の教育への思いを問う

自ら主体的に情報を選択する力、予測不能な未来を切り開く力をと願う



梅野 智恵子 議員

GIGA スクール構想と本市小中学校における ICT 教育について

Q 本市2中学校5小学校への学校通信整備工事のスケジュールを伺う。

A **教育長** ● 6月末に入札を行い、各学校と工程調整を行った後、工事を着手。今年度末までにはと予定しているが、なるべく早く進めたいとの思いは持っている。

Q ICT支援員、アドバイザーの確保とともに、GIGA スクールサポーターを配置されるか。業者選定、連携の本市方針を伺う。

A **教育長** ● GIGA スクールサポーターとして今年度中に学習環境整備にアドバイザーを専門家を配置する。本市ネットワーク環境や学校現場への導入実績などを勘案し、業者選定を行う。ビデオ会議システムを使った同時双方向型のオンライン学習の仕組みづくり、提案、教員向けの研修会などを予定している。

Q 家庭にWiFi環境が整っていない世帯に貸し出すために確保した350台のモバイル

ルーター貸出は本市の就学援助受給世帯のみとなるのか伺う。

A **教育長** ● 国の基準に基づき確保した350台という数は就学援助費の受給者の数とは異なり、兄弟の方もいるので世帯ということでの概ねの数字である。この台数のモバイルルーターがあれば、通信環境の整っていない家庭に対応できるのではと考えている。

Q モバイルルーターが必要など、保護者のご家庭へのニーズ調査はどのように、いつ頃行うのか。また通信環境が整っていないご家庭への対応を伺う。

A **教育長** ● 6月中旬に調査を行う。この調査結果を専門家にも分析をいただき、通信環境が整っていない家庭への対応を検討してまいりたい。

Q 野々市市には、金沢工業大学、石川県立大学があり若者のまちである立地利点を生かし、野々市市と教育機関が連携をとって、ICTを活用した本市独自の教育環境創出と、学校や家庭への連携を推進していただきたいと考えるが、本市の考えを伺う。

GIGA スクール構想

Global and Innovation Gateway for All の略。児童生徒向けの1人1台の学習用端末と、高速大容量通信ネットワークを一体的に整備する構想で、昨年文部科学省が打ち出す。誰一人取り残すことなく子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 ICT 環境の実現に向けた施策。令和5年度にかけて段階的な整備計画を、新型コロナウイルス感染拡大による学校長期休校の影響で家庭でのオンライン授業を推進し、児童生徒の学びの保障を確保することなどを目的とし、今議会補正予算に計上され、前倒しとなり進められる。

A **教育長** ● これまでの試行的なものから、より実践的なものとなるよう、大学教員を講師として招聘し、ICT機器の活用能力向上を狙いとした教職員研修を市の教育センターにておこなっている。今年度は3種類のプログラミング教材を導入し、各学校教員とICT支援員が中心となり準備を進めている。保護者や地域の皆様にも授業の様子を時期がきましたら是非見ていただき、地域に根差し開かれた教育課程となるよう広く意見を求めるとともに、今後も大学と連携しながら力りキリを毎年改善してまいりたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、<https://youtu.be/4d0t8yn16y4>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



西本 政之 議員

白山石川医療企業団に財政的な支援が必要と考える

開設者となる構成市町で協議する必要がある

Q 白山石川医療企業団は県の要請で新型コロナウイルス感染症の入院受け入れを公立松任石川中央病院で行った。入院患者を受け入れた国内の医療機関の約8割が大きな赤字となっており、公立松任石川中央病院も例外ではない。医療従事者には特殊勤務手当という形で支援されることになったが、病院本体への支援が十分ではないと考える。地域医療確保のためにも、白山市・野々市市・川北町の2市1町で財政的な支援が必要と考えるが如何か。

A 市長 ● 先般の全国知事会においても、石川県知事が県立中央病院の例を挙げて医療機関への国からの財政支援を求めていた。市においても公立松任石川中央病院の医療従事者を支援するための予算を本会議に計上したが、さらなる支援についても開設者となる構成市町で協議する必要があると考えている。

A 市長 ● 未知のウイルスの恐怖から、感染者、濃厚接触者、医療従事者等といった方々との接触に不安を感じている方々も多く、まずは、このような気持ちを払拭することが大切だと思う。また、誤解や偏見による差別の行動を無くすには、医療従事者の皆さんが感染予防の万全の対策を取っていることを、市民の皆様に分かっていただくことが重要であると感

じている。今後は、医療現場の声を市のホームページやフェイスブックなどでしっかりと発信し、市民の皆様に正しい情報が伝わるように努める。

市内小中学校の全面開校について

Q 徹底した3密対策と衛生管理が必要と考えるが、具体的な対策を伺う。また、感染者がでた場合に再度閉校する基準があるのか伺う。

A 教育長 ● 文部科学省から衛生管理マニュアルやその他の指針、ガイドラインが示されている。基本的には国の考えを踏襲しながら、市独自のものも加えて基準としている。衛生管理についてはマニュアルを示している。職員室では教職員の机を1メートル以上距離を確保している。ま

た、感染者が出た場合の措置については対応方針を定め、迅速で適切な対応ができるよう体制を整えている。

避難所について

Q 新型コロナウイルス感染対策をふまえた避難所の在り方を再構築して、備蓄品の見直しも行え。

A 総務部長 ● 市民の皆様には親戚宅や車中などの分散避難を検討していただきたい。市は、拠点避難所が密集するような場合、早期に予備避難所を開設し分散を図る。避難所内では、症状のある方と健康者を分離する。備蓄品については、早速マスクと換気の為の大型扇風機を調達した。今後も更なる検討を行い災害時に備えたい。

感染症対策基金について

Q 新型コロナウイルスを含む感染症の対策に要する経費の財源を積み立てるためとある基金の具体的な運用を伺う。

A 市長 ● 感染症拡大防止、市民生活と子供達への支援、地域経済の再興などに向けた本市独自施策の財源として活用したい。また、寄付金の受け皿としても活用したいと考えている。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、<https://youtu.be/QxbXAPYEsqM>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



農業環境保全ゾーンは計画期間の2040年まで堅守していくのか

農業環境の活用を図る地区として、今後も農業環境を維持し、保全して行かなければならない区域と考えている



北村 大助 議員

市立地適正化計画について

Q 居住誘導区域に含まない区域について、本計画の位置付けから農業環境保全ゾーンは計画期間の2040年まで堅守していくのか。

A **市長** ●「農業環境保全ゾーン」は、市域の南西部に位置し、優良な農地の保全、新たな野々市ブランドの創出や農業就業の場として農業環境の活用を図る地区と位置付けがなされており、今後も農業振興を維持し、保全して行かなければならない区域と考えている。一方で、上位計画の定期的な見直しや、人口増加や住宅事情など、様々な社会的要因により土地利用方針の見直しを行う必要性が生じてくることもあるかと思っている。そうした状況になれば、議会の皆様とも相談させていただき、適切に判断をして参りたい。

Q 「居住誘導区域外」と「居住誘導区域内」を明確に区別し、「まちなか・居住誘導区域」に住宅を新築・住み替える奨励金制度を創設すべきでは。

A **市長** ●居住誘導区域への定住をどのように進めていくかは大切な視点だと考えておるの

で、まずは既存の制度の見直しから検討をしてまいりたい。

仮称 野々市子どもの未来応援計画（貧困対策基本計画）を策定せよ

Q 両親の離婚や疾病、失業等から急に生活困窮に陥る可能性はどの家庭にもある。生まれ育った家庭の経済的困難によって、子どもが様々な機会が奪われた結果、子どもが多くの「不利」を背負うことがある。このような「貧困の世代間連鎖」を断ち切る必要がある。「仮称 野々市子どもの未来応援計画策定を求める」。

A **市長** ●生まれ育った環境や家庭の経済状態によって、学力や進路に格差が生まれることなく、すべての子どもが希望を持って明るい未来を思い描くことができるように、多面的に支援していく必要がある。市ではこれまでも、ひとり親世帯や生活保護世帯を対象とした就労支援や学習支援など経済的自立の促進や貧困の連鎖を断ち切るための事業を実施してきた。「第2期野々市子ども・子育て支援事業計画」を本年3月に策定しております。その中で、子どもの貧困に関する取組みについ

ても重点施策として推進することを感じ込んだものとなっている、しっかりと取り組んでまいりたい。

市部局組織について

Q 抜本的な組織改編の時期を迎えていると強く感じる、今までの既成概念にとらわれず、大胆な部局組織の改編を行うべきでは。

A **市長** ●新型コロナウイルス感染症の流行という予期せぬ事態となり厳しい財政状況の中、これまで以上に事務事業の効率化が急務であると認識している。引き続き、柔軟に対応するため必要となる組織改編を行ってまいりたい。

Q まずは「危機管理課」・「営繕課」の創設が必要であり、「企画課統計情報係」の強化、「子育て支援課」を分課し、専門業務の効率を上げることと責任の所在もさらに明確にする必要があると考えるが市長の所見を伺う。

A **市長** ●「危機管理」については、不測の事態に直面し、改めてその重要性を再認識している。組織改編にあつては、どのような体制の組織が最適なのか、様々な観点から検討は続けて参りたい。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、<https://youtu.be/3XqopGdPceg>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。





向田 誠市 議員

市の財政健全化を図るためにも、急務の課題だと考えるが

地区公民館を始め、学校、保育園、スポーツ施設等の公共施設を指定管理や民営化は適切に判断

各地区公民館全般について

Q 公民館が、令和時代に沿った運用がなされているかの課題提示及び、まちづくり・人づくりの拠点として十分な活用・運用がなされるように教育委員会と協議をしては。

A **市長** ●地区公民館では、運営審議会の意見や地域住民の声を反映し、年間事業計画をたて、地域の課題に即した事業を展開し、各公民館組織委員と公民館職員の協力で、催しを盛り上げ、複数の公民館合同事業により他地域との繋がりも視野に活動を行い、その中で課題も出ますが、公民館と地域の皆様との深い議論により、地域の発展に繋がって行きたい。

Q 指定管理者制度導入で、公民館の運用及び人事を地域で行って貰う仕組みを構築する考えはあるか。

A **教育文化部長** ●公民館館長は、施設の最高責任者の職であり、長年、地域住民より信頼を集めている方から教育委員会が任命している。指定管理者制度を導入しても、その地域における最も相応しい人材を選ぶ観点は、教育委員会が選ぶ視点と同様。現状の人事選考で

十分に地域の声が反映された人事であると考えており、今後も、地域の事情に精通し、地域の先頭に立って事業を行う方に公民館運営を担って頂きたい。

Q 地区公民館をコミュニティセンターにして、地区連合町内会に指定管理としては如何か。

A **教育文化部長** ●社会教育法の制約を受けず、柔軟な運用が可能となり、物販などの営利を伴う事業や、飲食を目的としたイベント利用が可能となる反面、社会教育を目的とした利用が圧迫され経費の増大が懸念される。今後、公民館が市民の皆様にとって、より利便性が高く、親しまれるものとなるよう、調査研究に努めたい。

Q 地区公民館意外の公共施設も指定管理や民営化に移行して、市財政の健全化を図るべきでは。

A **総務部長** ●市民サービスの提供等様々な視点から検討し、直営・民営化など施設で最も適している運営手法を選択する事が重要で、PFI方式による整備・運用に取り組んで来たところです。今後、事業経費・効果等を勘案した上で適切に判断してまいりたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症全般について

Q 感染症に対し、市民が納得し安心できる体制づくりをせよ。

A **市長** ●此までに様々な問い合わせを頂き対応してきましたが、今後とも、市民の不安を和らげ、寄り添った相談体制を整えてまいります。

Q 市民が安心してPCR検査・抗体検査が受けられるよう県に対して要望せよ。

A **市長** ●市独自での対応は難しいと思っており、県は、六月議会で補正予算を上程された所であり、市としては、感染拡大に向けて、白山のいち医師会・医療機関等と相談しながら適正に対応してまいります。

Q 岡本行夫氏の言葉に対する、市政に取り組む首長の心得とあるべき姿について問う。

A **市長** ●岡本氏の的確な情報分析・発想力・行動力に深い感銘と尊敬の念を抱いており、ご紹介いただいた言葉を確り受け止めて、市民の皆様お一人おひとりの負託に答えられるよう、全身全霊を傾けて、市政の舵取りをさせて頂きたいと思っております。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、<https://youtu.be/Nyl1W0fTJh8>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



新型コロナウイルス感染症の緊急事態解除後の図書館運営について

拡大防止のため一部制限しながら図書館を再開



大東 和美 議員

緊急情報伝達に有効な防災ラジオ

Q 防災ラジオ導入の検討されているのか伺います。

A **総務部長** ● 行政無線とのシステムの関連性を調査するなど、本市にとって最適な整備に向けての検討を進めています。

Q 新型コロナウイルスの感染症の拡大を防ぐために、毎日防災行政無線で注意を呼び掛けていたが、聞き取りやすかった工夫を伺います。

A **総務部長** ● 内容は短くし、ゆっくりと2回繰り返す。音声については肉声を録音し使用。二重に聞こえる地域解消のためグループ分けし、放送しました。

コミュニティバス「のっぴー」のICT化による生活の利便性向上

Q 感染症対策として減便ではなく、混雑状況をリアルタイムで情報発信するシステムを導入し、「のっぴー」の通常運行に戻してはどうか。

A **企画振興部長** ● 感染防止対策として、運転手の感染や車内の消毒の徹底で運行維持を図り、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めます。

自治体が競うスタートアップ支援に取り組んではどうか

Q 産学官金の連携でスタートアップの育成に力を入れて国の集中的な支援を受けることで、日本海側の発展に寄与してはどうか伺います。

A **市長** ● 一般的な起業とは違い、革新的な製品、サービス、ビジネスモデルに挑戦し、急成長することを目的として事業を立ち上げるものです。本市では、創生総合戦略や創業支援事業計画に基づき、スタートアップも含めた起業家支援として、創業塾や石川県産業創出支援機構と共催（創業セミナー）など実施。平成28年度の事業開始以来15名の起業に結びつき、少量の血液から消化器系のがんを発見する検査方法を開発した大学発の医療系ベンチャー企業や家庭用ゲームソフトの開発企業、防犯アプリの開発企業など、石川県産業開発創出支援機構が開催するスタートアップビジネスプランコンテストで最優秀賞を受賞したスタートアップ企業を創業環境の整ったインキュベーション施設・BIRRDに誘致し、支援してまいりました。レンタ

ルオフィスとして貸し出す取り組みも今年度から募集しています。

外出自粛中の家庭での児童虐待を防止せよ

Q 生活不安・ストレスにより、児童虐待の増加や深刻化が懸念されていますが、本市での取り組みについて伺います。

A **健康福祉部長** ● 4月に「こども見守り強化アクションプラン」が国より示され、本市では週1回程度で学校から支援対象児童の様子を確認した。

緊急事態宣言中でも子育て支援センター・草原を開所し、相談体制やきめ細やかな支援を継続してきた。さらに、児童だけでなく高齢者や障がい者の虐待を未然に防ぐため、相談窓口を改めて周知しました。

ふるさと納税を活用した地域活性化策

Q 新たに、目的を明確にして起業する人を応援するふるさと納税を創設してはどうか。

A **市長** ● 寄付を直接の原資として市の施策に活用することは市のPRにも非常に有効と考えます。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、<https://youtu.be/hUyMw4Opbf0>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



岩見 博 議員

ひとり親世帯、子育て世帯、中小零細業者に一回きりでない継続した支援を

必要な支援は継続して実施していきたい

Q 新型コロナで厳しい状況が続くことになる。市として、子育て世帯、ひとり親世帯への生活支援、中小零細業者への事業継続緊急支援を一回きりでなく、継続しておこなうことも必要ではないか。

A **市長** ● 感染症対策による市民生活への影響や、これからの国、県の支援策にも注視しながら、必要な支援は継続して実施していきたい。

公立松任石川中央病院で発熱外来、PCR検査、抗体検査を

Q 私がやっている市民アンケートに、発熱外来やPCR検査、抗体検査をやってほしいという声が寄せられている。公立松任石川中央病院で発熱外来やPCR検査、抗体検査ができるように、開設者として、白山石川医療企業団、白山市、川北町と協議する場を持つ考えは。

A **健康福祉部長** ● 公立松任石川中央病院を開設する市町の首長が参加する白山石川医療企業団開設者協議会や、担当者が参加する開設者運営委員会の場においてしっかりと協議されるものと思っている。

フードバンクで学生支援を

Q フードバンクを設けて大学生やひとり親世帯等に支援することができないか。

A **市長** ● 社会福祉協議会、商工会などと協議して検討していきたい。



学生応援食品無料配布会＝市役所

一クラス20人以下の少人数学級の実現を

Q 教室の3密を防ぐには、一クラスの人数を半分以下にしないと不可能。これを機に、一クラス20人以下の少人数学級の実現を目指す必要があるのでは。市長会を通して国に強く働き掛けていく考えは。

A **教育長** ● 本市で20人以下学級の実現には、1・8倍の教室が必要になる。当面は35人以下となるよう、国、県に要望を伝えていきたい。

受験を控えた中学3年生に特別の支援を

Q 高校受験を控えた中学3年生は、長期にわたる休校で受験への不安は大きい。教育委員会としても何らかの特別な配慮・支援を行う考えは。

A **教育長** ● これまでも個別に教員の指導を受ける機会は学校で保障されているが、今年度の3年生には特に丁寧な指導が行われるように各学校に指示したい。

保健室の体制の整備を

Q 感染が疑われる児童・生徒が出た場合に備え、保健室の体制の整備が必要ではないか。

A **教育長** ● 市もマニュアルを作成しそれを参考に各学校独自の工夫を加えて取り組むことになっている。感染が疑われる児童生徒は、別室で待機させるなどの配慮を行うことになっている。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、<https://youtu.be/dzSietdZmnA>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

人事（敬称略）

▼野々市市農業委員会委員

西村 信夫（新庄三丁目）
 佛田 利弘（上林二丁目）
 西川 曉（野代二丁目）
 林 夢太（藤 平）
 中山 和久（徳用二丁目）
 北村 泰廣（末松二丁目）
 竹内 豊憲（住 吉 町）
 忍久保健三（上林四丁目）
 宮崎 義一（栗田二丁目）
 伊藤 正浩（下林四丁目）

▼人権擁護委員

長谷川芳彦（中林二丁目）

議会改革・活性化特別委員会 行政視察（7月6日）

加賀市議会は平成23年3月議会基本条例を制定、様々な実績を踏まえて検証を行い、改善を重ねています。また金沢大学法科大学院との連携協定により議員と学生、相互の研修もされています。

白山市議会では平成22年12月議会基本条例を制定しています。議会改革としては市内大学生、高校生との意見交換会や市民アンケートを実施しています。

両市からタブレット導入や議会広報誌の充実が重要との教示も頂きました。議員の真摯な取り組みと市民への理解の浸透の大切さを学びました。



9月定例会の予定 会期:9月3日(木)~25日(金) (23日間)



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 午前10時～ 本会議 開会	4	5
6	7	8	9	10 午前10時～ 本会議 一般質問	11 午前10時～ 本会議 一般質問	12
13	14 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	15 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	16 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	17 午前10時～ 総務産業常任委員会 午後2時～ 教育福祉常任委員会	18 午前10時～ 体育施設等に関する 調査特別委員会 午後2時～ 議会改革・活性化特 別委員会	19
20	21	22	23	24 午前10時～ 予算決算常任委員会	25 午後2時～ 本会議 閉会	26
27	28	29	30			